株式会社杉浦組

2026年度　品質目標

スローガン　：　光陰矢の如し

社会のスピードは速い。技術の進歩も早い。一人一人の感覚も、その速さに流されているとことがあろう。

限られた会社組織の中で、成果を高めるためには、時間を有効に使わなければならない。技術のサポートも大切である。

顧客満足のための大きな柱として時間軸が存在する。創意工夫により、時間を短縮することは評価に値する。

仕事を早く進め、効率化を高め、時間に余裕を作ることが、会社の経営安定や社員一人一人の生活の向上につながる。集中力、向上心、やる気を持って仕事に取り組もう。

1．顧客満足の向上

顧客満足とは、顧客が予測あるいは期待した以上のものを得たときに感じるものである。満足の度合いが高いほど、顧客の信頼を得、さらに将来に向けて継続することができる。

・顧客の思い描いている完成品を読み取り、それ以上の出来映えを提供する。
・顧客の立場に立ち、顧客の目線で物事を考える。
・顧客の予算を読み取り、それ以下の価格で提供する。あるいは予算の範囲内でより良いものを提供する。
・顧客の求める期限前に完成し、提供する。
・顧客の要求にはｽﾋﾟｰﾃﾞｨに対応する。
・顧客のため、会社のため、働く人のために安全が第一でなければならない。
・負の生産性（事故、工期延長、クレーム、手直し等）を排除する。

2．若い力　教育・活用・成長

生産性を向上させ、若い力を活かすために、会社は次のことに取り組む。

・新しい技術の導入。建築技術だけでなく、会議や事務効率を向上させるものも含む。
・ひとりがこなす単位時間あたりの仕事効率を向上させるとともに、仕事量の偏りをなくす人員配置を行う。
・資格の取得により、監理技術者を育成する。
・働きやすい職場環境の向上に努める。
・有能な技術者の育成に全社を挙げて取り組む。
・原価管理意識を向上させる。

3．特別監視プロセス

顧客満足の向上のため、当社は次に掲げるプロセスを監視することが最も重要と位置づける。会社のすべての業務、すべての社員がその重要性を認識して業務に当たる。

ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ	①法令	:法令及び社会規範を遵守する。
		:健全かつ公正な取引を行う。
		:会社の所有する情報は的確に管理保護する。
	②環境	:社会の求める環境のため、法令を遵守し、環境保全活動を行う。
	③労働	:社員のやりがいを助長する働く環境を整備する。
品質	①計画	:工事の種類に応じてやるべきことを的確に計画し、実行する。
		:計画に沿って、段取りよく、早めの手配で余裕を持って実行する。
	②検査	:検査により不適合が発見されないように、事前の確認を怠らない。
	③技術	:他社に一目置かれる仕事をする。会社としてのこだわり、個人の積極的な取組で常に競争心を養う。
		:新しい技術を導入する。
		:一級資格を持ち、顧客の要求に応える。
	④正確さ	:正確な記録を残し、意思の食い違いを予防する。
コスト	①利益	:顧客に安心を提供するため会社の安定した継続、繁栄を確保する。
	②原価	:常に原価意識を持つ。
		:原価は外注費だけでなく、仮設計画、人員配置、時間短縮が大きいことを理解する。
		:建設物価の動向をいち早く把握し、早期発注を行う。
		:専門工事業者にも厳しい受注の協力を求める。
ｽｹｼﾞｭｰﾙ	①工期	**:段取りは先手先手で行う。先を読み、段取りのよさが時間を作る。**
		:創意工夫により、工期を短縮する。
		:工事契約後のスタートダッシュをよくする。
		:世の中の混乱のため、予測を超えた納期に注意する。
	②スピード	**:デジタルの活用を広げていく。**
		:何事もｽﾋﾟｰﾃﾞｨに行うことが大切である。すばやい反応は好感を呼ぶ。
安全	①無事故	:事故を未然に予防するための努力を惜しまない。
		:事故を起こすことによるすべてのマイナスを理解する。
	②継続	:パトロールにおける繰り返しの不適合をなくし、事故を絶滅させる。
		:働く人の安全に対するマンネリ化を防ぎ、安全意識を常に継続するように指導する。

4. 報連相

少ない時間でより多くの成果を生み出すために、会社に蓄積されているこれまでの経験や実績を有効に活用するためには、社内のコミュニケーションの充実と報連相の実行は欠かすことができない。

5、残業、休日出勤の削減

公共工事でも求められている週休2日制を民間を含めた現場においても確立し、月40時間以内の残業、休日出勤の休日振替を達成する。**顧客サービスは確保しつつ、業務の効率化により実行する。**

2026年 4月 1日

株式会社 杉浦組

代表取締役社長 杉浦政紀